

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	イノベーション創出促進事業				事業番号	015-053	
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	中百舌鳥イノベーション創出拠点担当	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	
			有	取組の方向性	②中小企業による新事業の創出			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数			
			有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)	目標値	100件(2021～25年度の累計)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.3	
			有	取組	創業準備のサポートと創業間もない企業の成長促進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	女性の就業率			
			有	現状値	50.1%(2022年度)	目標値	55.0%(2025年)	

2	関連計画	堺市産業戦略		
3	事業開始年度	令和 4 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市内外のスタートアップやベンチャー企業、中小企業等				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	堺・中百舌鳥の持つイノベーションのポテンシャルを広く周知し、域外へのイノベーション発信、域外からのイノベーション流入を促進し、人の交流、コトの創出を活性化させ、イノベーションのスパイラルを生み、イノベーション創出拠点の設置に向けた下地づくりを行う。					
8	事業内容	○社会課題解決型イノベーション創出事業 地域の課題解決や新たな価値につながるイノベーションの創出支援や、堺発イノベーション創出事例を発信するストーリーシートの作成、市民向けPRイベントを通じて中百舌鳥発イノベーションを継続的に創出。 ○交流拠点企画運営事業 S-Cube内で事業者やステークホルダー、起業希望者、学生など多様な人が集い、新たな出会いや交流・活動ができる共創空間「Community room cha-shitsu（以下「cha-shitsu」）」を運営。若者や女性向けのイベントも数多く開催し、さまざまな属性の人の利用を促進した。 令和4年度から運営してきたオンラインコミュニティは対面での交流が難しかったコロナ禍に導入・活用され、cha-shitsuとの連携で共創事例も生んだが、近年の対面交流の需要の高まりやcha-shitsuへの利用者流入を受け、令和6年度をもって運用を終了。 ○イノベーションの担い手を対象に事業所開設の賃料を補助 堺市で生まれたイノベーション創出に資するビジネスや取組が、都心地域、中百舌鳥地域で実装、定着することを目的に、本市及びS-Cubeが実施する支援施策を受けた方を対象に事業所を開設する際の賃料の一部を補助。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	大阪公立大学、委託事業者					
10	公民連携・協働事業	スタートアップ・ベンチャー企業、大阪公立大学、学生等と連携					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	イノベーション創出につながる事業数（累計）	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	50	75	100	100
			実績値	56	80		
			達成率	112%	107%		
当該指標を選定した理由		堺市基本計画のKPI指標の一つであり、令和3～7年度の累計で100件を目標とする指標である。					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市基本計画に掲げる目標値。点検年度における目標値は令和3～7年度の累計値。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	社会課題解決等のロールモデル創出件数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	10	10	10	
			実績値	9	10		
			達成率	90%	100%		
当該指標を選定した理由		堺市基本計画のKPI指標である、「イノベーション創出につながる事業数」の達成に寄与する主な取組指標である。					
目標値の設定根拠・算出方法		KPI達成に寄与する主な取組指標。点検年度における目標値は令和3～7年度の累計値。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	イノベーション創出促進事業	事業番号	015-053
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)
	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費 (a)	8,446	64,875	65,013	51,830	78,095
	国支出金	3,485	13,662	17,500	17,049	21,000
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他 (産業活性化基金繰入金、はなみり基金、企業版ふるさと納税)	4,961	42,112	19,325	20,900	24,475
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	0	9,101	28,188	13,881	32,620
14	人件費 (b)	6,560	10,530	10,530	10,530	10,920
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	15,006	75,405	75,543	62,360	89,015

事業費の内訳						(単位：千円)							
16	事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
		イノベーション創出促進事業委託料	R6	決算	5,484	0	業務系機能集積促進事業補助金	R6	決算	13,789	13,789		
			R7	予算	6,000	0		R7	予算	30,615	30,615		
		交流拠点企画運営事業委託料	R6	決算	20,400	0	大阪公立大学負担金	R6	決算	1,200	0		
			R7	予算	20,400	0		R7	予算	3,000	1,500		
		アントレプレナーシップ等育成事業	R6	決算	2,299	0	オンラインコミュニティ形成事業	R6	決算	2,112	0		
			R7	予算	3,000	0		R7	予算	0	0		
		イノベーションPR事業委託料	R6	決算	4,500	0	その他	R6	決算	2,046	92		
			R7	予算	5,000	0		R7	予算	3,080	505		
		さかいスタートアップアクセラレーション業務	R6	決算	0	0	—	R6	決算	0	0		
R7	予算		7,000	0	R7	予算		0	0				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	区 分	単位	令和5年度	令和6年度	
	① イノベーション創出につながる事業数	件	22	24	
	② 上記①にかかる年間経費	千円	75,405	51,830	
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,427,500	2,159,583	
	算出についての説明等	①は当該年度における単年度実績額、②は当該業務に係る人件費及び事務経費を計上			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	社会課題解決型プロジェクト創出事業では9事業者のビジネスモデル策定支援や成長のためのネットワーク構築を支援し、また、ストーリーシートでは8件のイノベーション事例の記事を作成し、情報発信を行った。 アントレプレナーシップ等育成事業については、小学5年生から中学3年生までのこどもたちに対しアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成等をはかるプログラムを実施し、21名が参加した。実施後のアンケートでは「どんなことでも頑張ればできるようになると思う」への肯定的な回答が75%、「起業は自分にもできると思う」への肯定的な回答が65%にのぼり、継続して自らのアイデア実現に向けたプロジェクトに取り組むこどもが現れるなど、次代のイノベーター育成に向けて一定の成果をあげている。本事業は企業版ふるさと納税等の寄附金活用により事業費の全額を特定財源でまかなうことができたため、費用対効果は非常に高かったといえる。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和5年度に引き続き、社会課題解決型プロジェクト創出事業では、地域社会に新たな価値を創出するビジネスモデル策定支援や成長のためのネットワーク構築を支援し、新事業の創出などにつなげている。 また令和6年度は、令和5年度から実施している市内事業者の商品やサービスを体験してもらう小学生向けイベントに加え、令和4年度から試行的に取り組んでいたアントレプレナーシップ等育成事業を小学5年生から中学3年生までのこどもたちを対象として本格的に実施した。本事業はKPI等の数値目標に直接寄与するものではないものの、こどもたちの「やりたいことを実現する力・マインド」を育成することは今後の継続的なイノベーション創出に不可欠となる。 イノベーション交流拠点「cha-shitsu」の令和6年度利用者は約7,500人で、令和5年10月のオープン以来累計約10,000人が施設を利用し共創事例も生まれつつある。 社会課題解決型プロジェクトは、「堺市基本計画2025」のKPI「イノベーション創出につながる事業数」に直結しており、KPI等へ寄与しているものと考えている。 今後は、こどもたちを対象とした次代のイノベーター育成事業をはじめとして、cha-shitsu利用者や支援プログラム参加者をさらに上位段階の支援プログラムにつなげるような取組を行い、中百舌鳥からの連続的なイノベーション創出が可能となる仕組みを整備する。
----	--